

令和元年度
東京都北区立赤羽台保育園
事業報告書

東京都北区立赤羽台保育園
指定管理者

社会福祉法人 茂原高師保育園

理事長 篠田 哲寿



1. 管理業務の実施状況

① 保育時間

保育標準時間 7:15～18:15 保育短時間 8:30～16:30

② 実施事業

延長保育 18:16 から 20:15 の 2 時間 1 時間補食 2 時間夕食提供

休日保育 年始 1 月 1 日～1 月 3 日を除く日曜祝日

子育て支援 子育て相談 子育て情報の発信 親子わらべうたの会

③ 児童処遇

0 歳児…ひよこ組 1 歳児…うさぎ組・いちご組 2 歳児…ぱんだ組・たんぽぽ組

3 歳児…きりん組・こじか組 4 歳児…はと組・つばめ組 5 歳児…ほし組

年齢	0 歳	1 歳	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳	合計
定員	12	38	38	38	38	38	202
31 年 4 月	11	42	42	42	41	38	216
2 年 3 月	12	42	42	42	40	38	216

④ 職員体制 (3/31 時点) ※ () はパート職員

園長	1 名	奥戸
主任保育士	1 名	井上
保育士	47 名 (15)	千脇、佐野、眞壁、芥川、高田、川尻、廣瀬、金子、山口、山崎、清水、那須野、前島、立花、忠鉢、上督、渡辺典、野村、高橋美、芝田、下地、下村、山内、山室、渡辺琴、名塚、勝連、冨田、佐々木、野本、堀本、山本(大橋)、(小林)、(丸山)、(相澤)、(平田)、(小池)、(杉山)、(荻山)、(瀬田)、(中内)、(西山)、(高橋順)、(藤井)、(藤岡)、(長澤)
保育補助	9 名 (9)	(安東)、(石垣)、(小熊)、(西山)、(芳賀)、(長谷川)、(町田)、(渡辺)、(滝元)
栄養士	1 名	酒井
調理師	3 名	小山、門脇、藤木
調理補助	5 名 (5)	(八木)、(河合)、(長谷川)、(大塚)、(菊池)
看護師	2 名	岩田、大橋
事務員	4 名 (2)	百地、松瀬、(麻生)、(森)
用務員	3 名 (3)	(井下)、(小名)、(村上)

2. 年間行事実施状況

4 月	進級式 入園式 慣らし保育 内科検診 (全園児)
5 月	こどもの日の集い 保護者懇談会 (0～5 歳)
6 月	歯科検診 歯科衛生指導 (5 歳児) 保育参加・保育参観(乳児)期間
7 月	七夕・プール活動 引き渡し訓練 防犯訓練

8月	プール活動 縁日ごっこ
9月	敬老会 (5歳児) 引き渡し訓練
10月	運動会 芋ほりバス遠足 (4・5歳児) 焼き芋パーティー (4・5歳児)
11月	個人面談 保育参加・保育参観(乳児)期間 尿検査 (幼児) 引き渡し訓練
12月	お楽しみ会
1月	初釜 (5歳児) 引き渡し訓練
2月	節分 生活発表会 (2~5歳児) 保護者懇談会 (0・1・2歳児)
3月	ひなまつり会 活け花 (5歳児) お茶会 (4歳児) 引き渡し訓練 保護者懇談会 (進級に向けて3・4・5歳児) 卒園式

* 幼児組 年間通して保護者の保育参加の受け入れを行う。(給食提供を含む)

3. 職員研修実績 【外部研修】

月	件数	参加者
4月	1件	山口
5月	3件	廣瀬・那須野・高橋美
6月	5件	井上・千脇・眞壁・立花・岩田
7月	4件	芥川・清水・那須野・岩田・名塚
8月	4件	眞壁・酒井・岩田・名塚
9月	3件	奥戸・山崎・名塚
10月	6件	奥戸・井上・千脇・眞壁・芥川・川尻・前島
11月	14件	奥戸・高田・千脇・川尻・廣瀬・那須野・渡辺典・高橋美・芝田 岩田・大橋麻
12月	3件	井上・千脇・高田
1月	5件	奥戸・高田・百地・立花
2月	1件	岩田
3月	0件	

【園内会議・研修実績】

会議名	対象者	実施頻度
職員会議・給食会議	正職員	毎月1回
保育内容検討会議	各クラス担任	毎月1回
乳児会・幼児会	各クラス担任	毎月1回
巡回指導研修	各クラス担任	年10回
園内研修 1・2年目研修	1,2年目職員	年4回
3・4年目研修	3,4年目職員	年3回
キャリア研修	5年以上職員	年3回
自主グループ研修	正職員	年4回
防犯・消防研修	全職員	年3回
保健衛生研修	正職員	年12回
法人 新採用職員研修	新採用社員	年1回

パワーハラスメント研修 キャリアアップ研修 外部研修会 各種保育団体 北区保育課主催	正職員 正社員 正社員	年 1 回 年 16 回 月 3～4 回
---	-------------------	----------------------------

4. 運営費執行状況（決算書）

別紙「決算書 令和元年度（自）平成31年4月1日（至）令和2年3月31日」参照。

5. 評価および反省

<子育て支援への取り組み>

配慮が必要なお子さんには、区派遣の発達心理士の助言を受けて、話し合い、より適切な援助へとつなげた。また要保護児童への対応では、両親ともに心身の病気等で問題を抱える家庭や子育ての不安を訴える保護者に担任、園長が面談を行いながら区の子ども家庭支援センター、東京都北児童相談所と連携を図り安心して子育てができるように配慮できた。一人親家庭など各家庭の実態を踏まえて、子育てのパートナーとしての信頼を元に支援を続けていきたい。

<子どもの最善の利益への取り組みへ>

チルドレンファーストの精神のもとに、乳児は担当制保育を行い、愛着関係を育みながら安心して遊びと生活へと自らに取り組めるように環境を整えた。「発達」に応じた活動を大切に探究活動など自発的な遊びが生まれていた。幼児組は、主体的な活動への取り組みを行い、信頼、自信、自立の構築が図れた。特に行事は年長児が中心になって話し合いながら進め様々な葛藤を乗り越えて協働する姿が見られ成長を感じた。また、後半には幼児組全体で「一緒に遊ぼう会」を行い、自分で考え選択して好きな活動に取り組む異年齢保育を行った。保護者からも自由な交流の機会を今後も増やして欲しいとかなり好評であった。

戸外活動では、5月の大津での保育園児の死亡事故から近隣のハザードマップを作成や戸外活動の安全を徹底し、懇談会にて説明した。保護者の理解の元で戸外活動を行っている。区立自然観察公園が近く、四季折々の植物や昆虫など生きものに直接触れて、自然の美しさや神秘さ、感性を磨くことや歩育から情緒の安定、体力の向上につながっている。

<環境教育へつなげる活動 私達のSDGsへの一歩>

保護者の協力のもと4,5歳の焼き芋会を昨年から引き続き行った。新型コロナウイルスの感染拡大の為に3月末のカレー会は中止となったが、園内外の燃やす資源を集め、保護者から、火について学び、自分達で炉に組み木し、マッチで火を起こした。ゴミを出さない工夫や食べ物、水など資源を大切にする活動につながった。また、給食の取引業者を招き、ぶりの解体ショーを毎年お願いしている。身近な生活から、自然を尊ぶ心、食べ物に感謝する心、労働への尊敬へと未来を培う環境教育につなげて園の特色として定着させたい。その為にも中・長期計画に基づき職員数を安定させて、安定した園運営を行っていききたい。

<職員の専門性向上の取り組み>

安全、安心の保育運営へと職員の専門性の向上を目指した。（保育所保育指針第5章）幼児教育の無償化も始まりその役割と責任は重い。個人研鑽と共に、法人、園内研修、会議等で衛生、安全、人権に配慮した保育、専門職として学び合い、共通理解を深めた。